

## く に たち

気象庁HPに掲載されている「災害をもたらした気象事例」や「日本付近で発生した主な被害地震」によれば、2022年も3月の福島県沖地震、8月の北海道、東北地方の記録的な大雨、9月の台風と、鉄道に甚大な被害をもたらす自然災害が発生しています。また、掲載はされていないものの2月には、北海道で多量降雪による長期運休が発生しました。このような自然災害は日本各地で毎年のように発生していますが、重要な交通インフラである鉄道は自然の猛威にさらされても安全・安定輸送を維持することが期待されています。自然災害による被害を軽減するためには、ハード対策に加えて、運行管理などのソフト対策が重要となります。

今月号では、「検知・予測技術を適用した自然災害に対する鉄道被害の低減」と題して、鉄道総研の最近の取り組みとして、風、雨、落石、地震に関する検知・予測技術の研究を紹介しました。また、今回は紹介できませんでしたが、鉄道総研では雪などの研究開発も進められています。今後、技術開発を深度化し、実用性の高い成果の創出をめざして研究を進めていきます。

次号の特集は「安全・安定運行を支える」です。鉄道総研では、デジタル技術により集めた情報を活用して、より効率的な運行や安全・安定輸送を支援するための研究開発に取り組んでいます。どうぞご期待ください。(Y.K.)

# RRR

ご注文は(一財)研友社へ  
TEL: 042-572-7157  
FAX: 042-572-7190  
<https://www.kenf.jp/>